

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第5回日向市総合計画審議会
開催日時	令和6年11月11日（月曜日）10:30～12:00
開催場所	日向市役所2階災害対策本部室
出席者	別紙名簿参照 欠席：寺原 孝幸委員、中田 和明委員、黒木 繁人委員、鈴木 博久委員、今給黎 承委員、佐藤 正由委員、富山 健太郎委員、難波 裕扶子委員
議 題	(1) 第3向日向市総合計画（案）について ① 基本構想の将来像について ② 前期基本計画について ③ 重点戦略について
会議資料の名称及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会次第 ・資料1 第5回 日向市総合計画審議会資料 ・資料2 日向市の将来像及び地域ビジョンについて ・資料3 第3向日向市総合計画・基本構想（素案） ・資料4 第3向日向市総合計画・前期基本計画 施策体系一覧 ・資料5 第3向日向市総合計画・前期基本計画（素案） ・資料6 第3向日向市総合計画・重点戦略（素案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>開会</p> <p>1. 会長あいさつ</p> <p>2. 経過報告 ※資料1を基に事務局より説明。</p> <p>3. 審議 (1) 第3向日向市総合計画（案）について</p> <p>① 基本構想の将来像について ※資料1、資料2、資料3を基に事務局より説明。</p> <p>② 前期基本計画について ※資料1、資料4、資料5を基に事務局より説明。</p> <p>【質疑】 ※以下、資料5「第3向日向市総合計画・前期基本計画（素案）」の施策体系順に質疑を掲載。</p>	

委員：「施策1－1 こどもまんなか社会の実現」について。こども家庭庁の示す“こどもまんなか社会”は、こどもの意見を聞いて施策に反映させることが重要だと私は考えているが、施策の方向性の中にそういった記載がない。そのため、「こどもまんなか社会の実現」を「こどもまんなかアクションの推進」といった表記にしたほうがイメージと合うと感じたがどうか。

事務局：一度持ち帰り、わかりやすい表現となるよう関係部局と検討したい。

委員：「施策1－1 こどもまんなか社会の実現」の「③子育てと仕事が両立できる環境の整備」の中にある“こども誰でも通園制度”は、就労の有無によらずに保育施設を利用できる制度のため、「①妊娠・出産から乳幼児期にわたる支援の充実」もしくは「②安心して子育てができる支援の拡充」の方が適切かと思うがどうか。

事務局：一度持ち帰り、修正の有無も含めて関係部局と検討したい。

委員：「施策1－2 学校教育の推進」の「①小学校・中学校教育等の充実」の中にある「保育所・幼稚園・認定こども園など就学前教育と小学校教育において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共通理解し、幼児教育の充実に連携して取り組みます。」は、文部科学省が推進する「幼保小の架け橋プログラム」のことだと思うが、「幼保小の架け橋プログラムを推進します」といった表現の方が良いのではないか。

事務局：一度持ち帰り、修正の有無も含めて関係部局と検討したい。

委員：「施策1－2 学校教育の推進」の「②教職員の育成と働き方改革」は「施策1－3 教育環境の充実」の方が適切ではないか。

事務局：一度持ち帰り、修正の有無も含めて関係部局と検討したい。

委員：「施策1－2 学校教育の推進」の「②教職員の育成と働き方改革」が重点戦略（☆表記）となっていない。児童生徒の支援をするために教職員の育成と働き方改革は重要だと思うがどうか。

事務局：重点戦略は、「まちづくりの重点課題（資料3 P17 記載）」を解決するために、4年間で集中的に取り組む事項についてまとめているところ。教職員の採用や勤怠管理等は県教育委員会の所管となっていることから市単独の取組には限界があると伺っている。どこまで市として取り組むことができるのかを含めて関係部局に意見を伝えたい。

委員：「施策1－2 学校教育の推進」の成果指標が中学校3年生を対象としたアンケートとなっている。中学校3年生とすると対象者が毎年変わることになるが、成果指標として適していないのではないか。

事務局：一度持ち帰り、修正の有無も含めて関係部局と検討したい。

委員：「施策1－3 教育環境の充実」の「③児童生徒を大切にす教育の推進」は「施策1－2 学校教育の推進」の方が適切ではないか。

事務局：一度持ち帰り、修正の有無も含めて関係部局と検討したい。

委員：「施策1－3教育環境の充実」の成果指標に「小中学校のトイレの洋式化」があるが、目標として適していないのではないかと感じた。

事務局：一度持ち帰り、修正の有無も含めて関係部局と検討したい。

委員：「施策1－4生涯学習・青少年健全育成の推進」の「①生涯学習の充実」の中にある放送大学について、通信制大学としての活用もできることから広報・周知に取り組んでもらいたい。

事務局：委員の意見として関係部局に伝えたい。

会長：委員から頂いた意見について、事務局にて再度検討してもらいたい。

② 前期基本計画の施策体系について

※資料1、資料6を基に事務局より説明。

以下、資料6「第3次日向市総合計画・重点戦略（素案）」の戦略順に質疑を掲載。

【質疑】

<全体について>

副会長：戦略ごとに設定するKPIについて、「戦略の目指す方向性・効果」とどう整理する予定か説明いただきたい。

事務局：「戦略の目指す方向性・効果」の目指す姿の成果や進捗がわかる指標にしたいと考えているが、主要施策に紐づく【具体的な施策】の中身について作成作業を進めているところであり、今後整理していきたい。

<戦略1について>

委員：現在、一部の児童生徒が荒れているといった話を聞く。学校や家庭での取組の対策を例えば「主要施策1－2希望を未来へつなげる人づくり」に盛り込む必要があるかと思うがどうか。

事務局：家庭が要因となっていることが多いと聞いているところで、課題解決に取り組むため「主要施策1－1子育て世代に選ばれるまちづくり」の中で「こども家庭センターへの移行」を記載しているが、具体的な取組み内容については次回の会議でお示しさせてもらいたい。

委員：主要施策1－2に記載されている「三位一体の教育」は、現状進捗できていないのではないかと思っている。より地域や家庭とのつながりをもった取組が必要だと思う。

事務局：委員の意見として関係部局に伝えたい。

<戦略2について>

委員：「主要施策2－2稼ぐ力を高めるまちづくり」に東郷工業団地の造成が記載されている。取組

むためには推進していくための体制が必要だと思うがどう考えているか。

事務局：次年度以降の施策の推進体制については併せて現在検討を進めているところ。

委員：企業誘致だけでなく、市民が取り組みたいと考えていることに対して、資金提供の支援やクラウドファンディングのフォローといったことにも取り組んでもらいたい。

<戦略3について>

副会長：関係人口に関する KPI の記載が弱いと感じた。訪問型関係人口と非訪問型関係人口の2種類があり、例えば前者はワーケーション、後者はふるさと納税寄附額といった指標を設定している自治体もあるので今後の策定の参考にさせていただきたい。

委員：米の山や I C を活用した道の駅など新たな観光施設を開発する予定はないのか。

事務局：現在のところ予定はない。総合計画では大きな方向性を示し、もし取り組む場合、分野別計画で記載し、取り組んでいくこととなる。

<戦略4について>

委員：コミュニティは全ての分野にまたがって関連してくる。地域とどれだけ一緒になってまちづくりをしていくかが重要で、企業も巻き込んだ取組が重要だと思う。そのために、理念条例であるまちづくり条例を制定し、一体となって取り組んでもらいたいと考えている。

事務局：委員の意見として関係部局に伝えたい。

<横断的な目標について>

委員：戦略4に「市民が利用しやすい公共交通を維持・確保します。」と記載があり、横断的な目標に「デジタル技術を活用した新しい公共交通サービスを導入します。」と記載がある。公共バスのオンデマンド化に取り組んでもらいたいと考えているがどうか。

事務局：目的としては公共交通の維持、その手段としてデジタル技術の活用と考えているところ。具体的な取組内容については次回の会議でお示ししたい。

会長：それでは委員から頂いた意見について、事務局にて再度検討してもらいたい。

4. 今後のスケジュール

※今後のスケジュールについて事務局より説明。

閉会